

7/2003
嬉



豪華四作家が勢ぞろい。さて共通点は？
「私たちが、アメリカの新人作家です」

栗本薫、江國香織、北方謙三、鈴木光司（前列左より）。錚々たる四作家が手にしているのは、それぞれの作品『グイン・サーガ1』（THE GUIN SAGA）『きらきらひかる』（Twinkle Twinkle）『棒の哀しみ』（Ashes）』『リング』（RING）の文庫本と英語版ハードカバー。そう、このたびニューヨークのバーティカル社より彼らの英語版小説が出版され、『全米デビュー』となったのである。

江國さんは「翻訳を読んで、主語と目的語がはっきりしている自分の文体は英語的なんだと改めて気づきました」と語る。また、昨年『リング』がハリウッドで映画化、大ヒットした鈴木さんにとっても、翻訳の実現は感慨深いことだった。アメリカの書評では「日本のステイブ・キング」と形容されている。

北方さんの描く類を見ない世界観は、ハードボイルドの本場でどんな輝きを放つのか。「ハリ！ポッター」シリーズなど世界中がファンタジーブームに沸く中で、栗本さんのギネス級大河ロマン（日本版はすでに既刊九十巻！）のもたらす熱狂は……。ご本人たちならずとも胸躍る試みだ。

CATCH UP

撮影 本社 石川啓次